

ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ（スカモビ）の振り返り

- ◆ スカモビでは、多数の企業、有識者、関係政府機関の協力により多数（2018-2022年度）の実証が行われ、各種課題の解決を可能とする産学官連携体制が構築され、横須賀に実証が持ち込まれやすい環境を生み出し、新技術・新サービスとの交流や市内外企業等との関係の構築に寄与した。
- ◆ 他方、昨今ではスマートシティに係る取組が実証段階から実装段階へと移行しつつあり、また本格的な社会実装を進める上では、モビリティのみを検討するのではなく、社会実装の最初の起点である「人々の暮らし視点で考えることが必要」という考え方が広まっている。
- ◆ 上記を踏まえ、今後は、モビリティ分野に限定せず、幅広く横須賀市が抱える地域課題を認識・理解の上、より実装を意識した内容に絞って注力することが重要。

配送ドローン
2019～2020

AI運行バス
2019～2021

ドローン搭載
スプレー噴射器
2020～2021

自動配送ロボット
(UGV)
2019～2020

電池レスIoTデバイス
(PLUSchool)
2022～

